

みんな考えてまい!

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー



会社の社長さんたちの意見を教えて。



「ガチャ万」のころとは簡単には比べれんが、生活も変わったし、会社もだいぶ少のうなってきたのお。ほん中でも、頑張つとる社長さんからの意見を紹介しようかのん。会社の経営についてちゃ、

今んとこで続けたいと考えると社長さんが71%とひとつと多く、市外へ出たいという会社は5%なんじゃ。出たい理由を聞いたら、「会社を大きくしたいが条件に合う場所がない」とか、「賃料が高い・税の優遇がない」などの答えだったんじゃ。

そのことで、役所は何もしてないの? ほうじゃないぞん。市民が働ける場を確保したり、会社が外に行かんよう税金の優遇措置を設けたり、新しく工業用地を造つたりと、会社を大きくしたいと考えると会社や、市外に出て行こうとしとる会社に残つてもらえるよう、いろんなことをやっているんじゃ。



今は車社会だから、道をつくって欲しいっていう

声が大きいいんじゃない?



ほうじゃな。役所に望むことでは、道路をつくつとくれんちゅうのがいっとう多いのん。ほれも、早く名古屋や豊橋へ行ける道をつくつとくれんと言つとるぞん。オレンジロードができてほんに便が良うなったが、23号バイパスや247号バイパスが早ようできるよう、みんなも協力しとくれん、のお。

計画開発課 ☎66◆1142



学芸員 小林龍二

怪しい?スカウトマン

この号が発行されるころ、私は市内の海岸や川、水路で生き物の調査を兼ねて、採集に励んでいます。

竹島水族館では、職員が展示する生き物を野外に出て採集する「自家採集」をよくし

ます。採集のほとんどは、休日に行っています。調査を兼ねて勤務中に行くこともあります。

仕事中の採集調査は水族館職員の格好をしているため何ともないですが、休日は、私服の採集になるので、ちょっと困ってしまいます。

というのも先日、私とある小学校の近くで展示用のメダカを採集していると、すぐに下校途中の児童たちに囲まれ、採集の手を休めてメダカ解説をすることになりました。小学生たちの反応は上々だったのですが、その後にはやって来た下校安全パトローラーの方たちや学校の先生たちにも不審がられてしまい、何度も職業と採集行為の説明をするはめになりました。「こういうもので、展示用の魚をス

カウトしています」と、名刺を何枚も配って理解してもらいましたが、先生たちから見たら平日の日に学校の近くで児童を集めて何やら話している人物は明らかに怪しいでしょうね。

● ● ●
9月3日まで「あのスターたちをもう一度」と題して、開館以来、話題を集めた海の生き物を特別展示しています。皆さん、ぜひ、見に来てください。